

——第一五七回臨時教區會——

十月一日、『兵庫教区臨時教区会(通算第一五七回)』が召集された。

今年度下半期を迎えるにあたり、予算の中間執行現況から第一次予算補

正案として、二〇一三(平成二十五)年度の財務議決議案が上程・審議され、議案の可決をもって閉会した。

また、本教区会開会前

に、多田満之教区会議長の議長職及び議員辞職（※二面に関連記事）にか
り議長選挙が行われ、
釋水正章氏（岡山南組正
覺寺）が新議長に選出さ

議長挨拶で釋水氏は「教区におきましては差別問題や護持口数調整の問題など、問題は山積しておりますが、多田議長

の後、二年と五カ月の残任期間ではありますが、がんばって勤めさせていただきます」と抱負を述べた。

新議長の開会宣言に続

いて議案上程に先立ち、教務所長が「昨年四月に新たな運動理念として、御同朋の社会をめざす運動(実践運動)が打ち出され、当教区にて昨年八月二十二日、全教区に先駆けて総局による公聴会が開催されました。

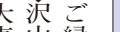
それより一年が経過した本日、再び公聴会が行われます。本日十月一日は三カ年度取り組む実践運動の中間点となります。当教区における運動の進捗状況について点検するとともに、今後の教団のあるべき姿について様々な角度からのご提言を頂戴できればと思います」と挨拶を述べた。(※公聴会について二面に関連記事)



議事を進行する釋水議長



とき み せいしょう
釋水正章氏


 のご縁づくり」が願いである
 ◆沢山の人が関わり集まる事が大事で、少人数では意味がない。これは間違っている◆
 自坊で毎月第三土曜日午後三時から四時半まで土曜学校をしている。ある時、月忌参りを途中にして本堂へ駆け込んだら誰も来っていない。始まりの時刻が過ぎてまだ。諦めて月忌参りの続きをしようか。もうちよつと待とうかどうかという。もう終わりがかな・・・
 四時前に一人の女の子が「遅くなつてごめんなさい」と走つて来た。「みんなは？」と良くて来た。「みんなは？」と良くて来た。「みんなは？」と良くて来た。「みんなは？」と良くて来た。
 日一番だよ。」二緒にお勤めし、ゲームをして帰る時「先生今日は嬉しかった。先生独り占めできたもの」「来月は友だち連れてくるね」と笑顔で帰って行つた。◆言うまでもない土曜学校は続いた。子ども的人数が多いと関係が複雑になっていたかも。一人でも、その一人と大切に関わる事が大事とその子から教わつた。良き協力者は子どもだった。

姫路中組法性寺 池本史朗

公聴会開催される

—本山より本多総務が出向—



挨拶する本多総務(写真中央)

協議に先立ち、報告事項としてご門主様が来年六月五日に退任され、新門様への『法統継承式』が六月六日に本山で執り行われることが報告された。

続いて法統継承式の予算は二億円を計上、一般寺院への割当懇志依頼は行わないことを説明、その後『伝灯奉告法要』を営む諸準備が進められる旨の説明がなされた。

意見聴取では、杉本照頭師(阪神東組最光寺)から、阪神ブロックで各寺院の災害時にどの様な対

宗会議員に多田氏決定

宗会議員欠員による補欠選挙施行の宗告発布につき、兵庫教区僧侶宗会議員補欠選挙が九月十二日(木)に開催予定で



ただまし氏
多田満之氏

あったが、立候補者一名につき選挙未開催にて、多田満之氏(赤穂北組西光寺)が兵庫教区僧侶宗会議員に選出された。

これを受けて九月十三日午前十時、本願寺神戸別院を会場に『第十八選挙区(兵庫教区)僧侶議員選挙会』が開催され、当選状授与が行われた。

教区会議員、東北へ

—兵庫教区教区会議員研修会—

九月二十五日から一泊二日の日程で『平成二十五年兵庫教区教区会議員研修会』が開催された。

本研修会は、兵庫教区教区会議員としての自覚のもと、聞法と議員相互の親睦をはかることを目的に開催されるもので、本年度は宮城県を会場として二十四名の議員参加のもと催行された。

伊丹空港を出発した一行は仙台空港到着後、青



専能寺の前で

らは、真宗の枠組みを超え地域の仏教会と協力、核家族化する子や親世代に参加を呼びかけ、花まつりを開催していること等提言を頂いた。

葉城跡を散策したのち、本願寺仙台別院を参拝。別院本堂を会場に開会式が行われ、長岡晃澄師(神姫組金蓮寺)調声のもと重誓偈のお勤め、教務所長挨拶、釋水正章師(岡山南組正覚寺)挨拶にて開会。

続いて、東日本大震災にて被災、津波の被害を被った専能寺(仙台市宮城野区)を参拝。

住職(足利一之師)・前坊守様より震災当時の生々しい被害の様子や、現在までの苦労、被災された門信徒の話などをお聞かせいただいた。

翌日は石巻市を視察後、宮城県の史跡を見学、伊丹空港到着後、渡邊昌人師(赤穂南組光蓮寺)の挨拶にて終了・散会となった。

~第三十三回千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要参拝~



献華の様子(西川氏)

九月十八日・十九日にかけて、『第三十三回千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要』兵庫教区参拝団 団体参拝』が行われた。

本追悼法要は、浄土真宗本願寺派が主体となっ

て、一九八一(昭和五十六)年から東京・国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑において厳修されておられ、本年度三十三回目を迎える。

法要は、御門主様・御裏方様・新門様ご臨席のもと十九日の午後一時より始まり、仏教讃歌の斉唱・献華が行われた後、宗門として恒久平和の願いを新たにするため「平和の鐘」が打たれ、「平和宣言」

が行われた。

続いて、御門主様ご焼香の後、正信念仏偈のお勤めが勤められ、最後に仏教讃歌「み仏にいだかれて」の斉唱にて法要は終了した。

兵庫教区参拝団代表として献華を行った門徒推進員の西川經一さん(赤穂北組専稱寺門徒)は「門推になり、浄土真宗について知りたいことが沢山あり、一つのご縁と思い参加した。築地本願寺にも初めて参拝できたし、千鳥ヶ淵戦没者墓苑も初めて訪れることが出来た。次は妻と一緒に参加したい」と話した。

近畿ブロックの寺婦が別院に 近畿ブロック寺族婦人研修会へ



満堂の中での講演

氏（兵庫教区寺族婦人会連盟委員長）の挨拶にて開会。

記念講義には、足利孝之師（兵庫教区阪神東組安養寺）をお迎えし、『現生正定聚へ信心をいただく』と題して法話を頂いた。

休憩の後、会場を別院一階ホールに移し、記念公演として兵庫教区寺婦連盟を母体とした、コーラスグループ「アプサラス」出演によるオペレッタ『親鸞聖人と恵信尼さま』（監修・豊原大成師／監督・杉本照美師／演出・釋氏清子師）が上演された。

九月十日、『二〇一三年度近畿ブロック寺族婦人研修会』が神戸別院にて開催され、四百名以上の寺族婦人が近畿六教区より参集、別院本堂満堂の中研修会が行われた。

開会式では、献灯・献華・献香、各教区委員長焼香の後、和讃を中心とした音楽礼拝が、兵庫教区寺婦連盟会員出勤のもと勤められた後、兵庫教区教務所長挨拶、廣岡典子

：対話と歌と踊りによって物語が展開する音楽劇（小さいオペラ）

オペレッタでは、親鸞聖人の苦悩を、法然上人・恵信尼さまとの出会いを中心に、得度・吉水の草庵・九条家法会・六角堂の救世観音の夢告の場面を通して表現された。

閉会式では、八木覚子氏（兵庫教区寺婦連盟副委員長）挨拶の後、釋迦恵子氏（次期開催教区／滋賀教区寺婦連盟委員長）挨拶、恩徳讃の斉唱にて閉会となった。



迫真の舞台

近畿の 布教使が一室に 第三連区布教使研修会へ

八月二十八日、二十九日にかけて、本願寺神戸別院・メリケンパークオリエンタルホテルを会場に『平成二十五年度第三連区布教使研修会』が、百名を超える参加者のもと開催された。

本研修会は、第三連区（和歌山・滋賀・京都・奈良・大阪・兵庫の六教区）布教団主催のもと、各教区持ち回りで毎年開催されるものであり、本年度は兵庫教区が主幹教区となつて執り行われた。

研修会のテーマは、布教団連合親鸞聖人七百五十回大遠忌長期計画テーマである『親鸞さまの魅力（現代（いま）に！）』阿弥陀さまの温もりに出遇えたよろこびを確かめあい、わがちあいましゅう』を総合テーマとし、サブテーマに兵庫教区の教学テーマである『現生正定聚』を設定。

講師には、兵庫教区の

布教団員でもある友久雄師（京大病院医師・龍谷大学教授／兵庫教区姫路中組西徳寺衆徒）を迎えての開催となった。

研修会では、讃仏偈の勤行後、松永大徳総務（布教団連合総団長）挨拶、兵庫教区教務所長挨拶にて開会。

続いて友久師による講義・問題提起を頂いた後、六班に分かれての分散会が開かれ、分散会発表では、各班の様々な意見や思いが話された。

講義では、講師自身のご法義との出遇いを語る中で、善導大師以来念仏者の姿勢として示された伝道の根本である「自信教人信」のいただき方、伝道は聞法からはじまるという聞法と伝道との関係性など、布教使・真宗僧侶としての根本や、臨床心理学の知見から、カウンセリングと布教や傾聴と聴聞の相違点を、明確にご教示頂いた。



優しい語り口の友久師

分散会発表後、お夕事として重誓偈のお勤め・布教実演（苗村隆之師／京都教区下西組正住寺）が行われ、会場をメリケンパークオリエンタルホテルに移しての懇親会となった。

二日目は、お朝事として讃仏偈のお勤め・布教実演（大西宝雲師／兵庫教区栗組教専寺）が行われた後、全体会・まとめの講義が行われた。

閉会式では、増井淨見師（兵庫教区布教団副団長）挨拶の後、次期開催教区である京都教区より岡橋聖舟師（京都教区布教団副団長）の挨拶にて閉会の運びとなった。

教区だより

10月・11月

10月

15(火)	常例法座(寺本峰昭師 神崎組 16日まで)	13:30
16(水)	別院仏教壮年会	10:00
17(木)	仏婦コーラス練習会	10:30
18(金)	アブサラス練習会	13:30
〃	青僧会役員会	16:00
21(月)	神戸真宗連盟主催 真宗講演会	14:00
23(水)	第37回近畿地区仏婦大会 ポートピアホール	
24(木)	青僧会連続研修会(佐々木義英師)	14:00
25(金)	総代会西播ブロック研修会 たつの市「志んぐ荘」	10:30
27(日)	総代会姫路ブロック研修会 姫路中組法性寺	10:30
28(月)	総代会但馬ブロック研修会 養父組安楽寺	10:30
29(火)	総代会丹波ブロック研修会 氷上西組西往寺	10:30
30(水)	別院仏婦研修旅行 鷺森別院	8:30

11月

2(土)	門推の日	10:00
〃	第一土曜仏教講座(末本弘然師 大阪教区豊島南組)	13:30
9(土)	中仏つどい会	9:30
10(日)	中仏つどい会	9:30
12(火)	神戸市佛教連合会	17:30
14(木)	兵庫県仏教教誨師会研修会	15:30
15(金)	常例法座(渡邊顕代師 阪神南組 16日まで)	13:30
16(土)	別院仏教壮年会	10:00
17(日)	総代会阪神・神戸ブロック研修会	10:30
24(日)	門推第56回研修会 氷上東組明光寺	10:20
26(火)	神戸別院報恩講法要 (芳滝 仁師 北海道教区十勝組 28日まで)	

①頼んでもいないのに突然訪問し消防署や大手消防器具の企業を名乗り、「消防法で点検が義務付けられているから」と点検を行う。
②無断で寺院備え付けの消火器類を回収した後、詰め替えたものを返還もしくは新品を納品し、金銭を請求する。

【悪質な販売手法例】

③金銭の話し合いを行う際、威圧的な態度・様相の者が訪問する。
④発注していないにも関わらず「契約がなされている」と主張、また発注した場合発注数より多い数を納品しようとする。

【対応】

①消費生活センターに相談し、常駐の弁護士に対応を依頼する。※契約解除の手続きの指導や、今後の業者との交渉窓口として対応を行ってもらう。
②威圧的な業者との話し合いを行う際は、話の内

容を録音することを相手に伝え、会話を録音すること、また話し合いは二人以上で対応する。
③相手の言動に恐怖や違法性を感じたら、すぐに警察に相談する。
「困った」「おかしい」と思ったら、すぐに警察や消費生活センターにご相談を。
【兵庫県立健康生活科学研究 所生活科学総合センター】
受付：平日九時～十七時三十分 ☎(〇七八)三〇三〇九九九
※土日は週末消費生活相談ダイヤルまで(十時～十六時 ☎〇一二〇一五一一一〇三)

悪質商法にご注意を！

神戸別院報恩講法要

十一月

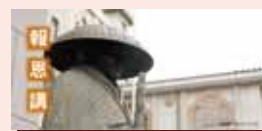
二十六日(火)～二十八日(木)

講師：芳滝 仁師
(北海道教区十勝組頭勝寺)

二十六日速夜

～二十八日満日中

リーフレット『報恩講』 受付中



年三回発行のリーフレット『法』シリーズ。今回の報恩講号は、高崎正英師(神崎組浄光寺)にご執筆いただきました。
一部二十円(送料実費)にて販売しております。また、百部以上ご注文の場合は寺号を無料で印刷致します。教務所まで、ご注文ください。
【教務所 ☎〇七八三四一五九九九 / FAX: 〇七八三四一八五二六】

敬 弔

左記の方がご逝去されましたので謹んで敬弔の意を表します

尾井憲雄(氷上西組照徳寺前住職) 平成二十五年七月十日八十八歳

西脇 修(揖龍西組超念寺住職) 平成二十五年七月十六日六十二歳

寺口愛子(阪神北組長宣寺住職) 平成二十五年八月八日九十一歳

西田おいし(播磨中組福恵寺前々坊主 平成二十五年八月二十三日九十九歳)

廣岡行信(神戸中組徳照寺住職) 平成二十五年八月二十六日八十五歳

中山洋昭(播磨中組教覚寺住職) 平成二十五年九月九日六十三歳

竹内浅衣子(揖龍東組浄蓮寺前坊主) 平成二十五年九月二十一日八十七歳

豊岡幸子(高砂組善立寺坊主) 平成二十五年九月二十八日八十六歳

小宅信水(神戸湊組浄榮寺住職) 平成二十五年九月二十七日七十八歳

十月二日現在

【敬称略】